

12月12日に実施されました「令和8年度全国学力・学習状況調査」担当者会議の主な説明内容等をお知らせします。

事務連絡
令和7年12月25日

各都道府県・指定都市教育委員会
各都道府県私立学校担当部局
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社担当部局
各国立大学法人附属学校担当部局
各公立大学法人附属学校担当部局
全国学力・学習状況調査担当課 御中

文部科学省総合教育政策局参事官（調査企画担当）付学力調査室

「令和8年度全国学力・学習状況調査」担当者会議での主な説明内容等について

全国学力・学習状況調査の実施に御理解・御協力をいただきありがとうございます。

令和7年12月12日に実施された「令和8年度全国学力・学習状況調査」担当者会議（以下「本会議」という。）の主な説明内容等について、下記のとおりお知らせします。詳細については、下記1内のURLに掲載している会議資料も参照いただきながら、説明内容について再度御確認ください。なお、本会議での説明から追加した内容（下記2の太字・下線部分）がありますので、併せて御確認ください。

都道府県教育委員会におかれては、域内の市町村教育委員会（指定都市教育委員会を除く。）及び所管する学校に対して、指定都市教育委員会におかれては所管する学校に対して、都道府県私立学校担当部局におかれては関係する域内の私立学校及びそれを設置する学校法人に対して、構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社担当部局におかれては関係する域内の株式会社立学校及びそれを設置する学校設置会社に対して、国公立大学法人附属学校担当部局におかれては関係する附属学校に対して、御周知くださいますようお願いします。その際、教育委員会等の主催する研修・会議等を活用したり、クラウドを活用した文書の共有等、学校の事務負担軽減にもご配慮いただくよう併せてお願いします。

本会議はGIGAスクール構想により整備された1人1台端末、ネットワークを活用するCBT方式の調査に関するものであるため、各教育委員会及び各担当部局におかれましては、GIGAスクール構想主管課にも適切に周知・共有くださいますようお願いします。

令和8年度全国学力・学習状況調査に係る主な通知・事務連絡は、文部科学省HPの以下URLにまとめて掲載しておりますので、御参考にしてください。

URL: https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/zenkoku/1417152_00016.htm

記

1. 本会議の資料等について

本会議の資料は文部科学省HPの以下URLに掲載しています。

URL : https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/zenkoku/mext_00002.html

また、本会議のアーカイブ動画を以下のリンクから配信しています（配信は令和8年6月頃まで（予定））。

配信URL : <https://youtube.com/live/qCcbzzB21Uk?feature=share>

2. 本会議の議事及び主な説明内容等について

（注）太字・下線は本会議での説明から追加した内容です。

（1）令和8年度全国学力・学習状況調査の実施について

資料1－1	令和8年度全国学力・学習状況調査の実施について（令和7年12月5日付け7文科教第1370号事務次官通知）
資料1－2	令和8年度全国学力・学習状況調査の実施について（概要）
資料1－3	令和8年度全国学力・学習状況調査 質問調査について
参考資料1	「全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いの改善等について」 (令和7年6月6日付け7文科教第507号局長通知)

・実施日程については、以下のとおりです。

- 教科に関する調査（国語、算数・数学）：令和8年4月23日（木）
 - 英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」と生徒質問調査：令和8年4月20日（月）～23日（木）（不測の事態で実施できなかった学校は、生徒質問調査も含め予備日の4月24日（金））
 - 英語「話すこと」：500校程度の「当日実施校」が令和8年4月24日（金）又は27日（月）。その他の「期間内実施校」は、令和8年4月28日（火）～5月29日（金）。
 - 児童質問調査：令和8年4月24日（金）～5月8日（金）
 - 学校質問調査：令和8年4月1日（水）～17日（金）
- ・令和8年度調査実施要領の主な特徴は以下の通りとなります。
- 中学校英語に関する調査をCBTで実施し、調査結果をIRTスコア等で示すこと
 - CBT・IRTの意義を最大限反映させ、児童生徒一人一人の学力・学習状況が細やかに分かる結果の示し方とすること
 - 引き続き、障害のある児童生徒や日本語指導が必要な児童生徒に対する配慮を可能とすること
 - 英語（「話すこと」を除く。）及び児童生徒質問調査については、調査実施日（予備日を含む。）にあっては学校での実施とし、後日実施期間にあっては学校外での実施も可能とすること。英語「話すこと」については、当日実施校にあっては学校

での実施とし、期間内実施校にあっては学校外での実施も可能とすること。特に学校外での実施については、病院、教育支援センター等との連携を進めていただきたいこと（資料2－5）

- 「令和7年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」（令和6年12月23日付け6文科教第1467号文部科学事務次官通知別紙）で別に定めることとしていた、「全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いの改善等について」（令和7年6月6日付け7文科教第507号文部科学省総合教育政策局長通知）における文部科学省による調査結果の公表の取扱い等について、本実施要領に定めたこと
- ・国による結果公表は、7月の全国データについては、「話すこと」当日実施校500校の結果により、4技能全体の分析結果を公表し、秋の都道府県・指定都市別データについては、4技能総合のIRTスコア平均やIRTバンドの分布を公表する方向で検討しています。
- ・調査参加に当たっては、参考資料1（令和7年6月6日付け7文科教第507号局長通知）を踏まえ、過去の調査問題の教育的な取扱い、CBT・IRTに関する理解促進及びCBT調査問題の適切な取扱い並びに多面的に解釈可能な示し方による結果公表について、御協力をお願いします。
- ・質問調査項目について、児童生徒質問は80項目程度、学校質問は90項目程度とし、国や教育委員会における施策の企画立案を主目的とする児童生徒質問項目の一部は、ランダム方式で実施します。
- ・調査における性別の項目について、政府全体や国際調査の動向も踏まえ、男女別データを政策に生かす観点から、引き続き「男」「女」の項目を維持するとともに、多様な性への配慮の観点から、「どちらにもあてはまらない」「回答しない」を加え、合計4つの選択肢とします。

（2）令和8年度調査中学校英語・児童生徒質問調査の実施準備等について

資料2－1 令和8年度全国学力・学習状況調査 実施の概略

資料2－2 令和8年度英語「聞くこと」「話すこと」調査の実施方法について

- ・令和7年12月19日付け事務連絡「令和8年度全国学力・学習状況調査に関する準備のための「学校基本情報の確認(C)・(D)」及びCBT方式での実施に関する実施希望日の調査について」（通称「CD調査」）で学校基本情報の確認をお願いしています。 参加予定の各学校の児童生徒数等の情報の登録に加えて、小学校は児童質問調査実施希望日、中学校は事前検証（中学校英語）、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」・生徒質問調査及び英語「話すこと」の実施希望日の登録をお願いします。中学校については、D調査で使用可能なヘッドセットの保有数等の最終確認を行い、配布数を確定します。
- ・英語「聞くこと」は、文部科学省から配布するヘッドセットや、学校で保有するイヤホンや生徒個人が普段授業等で利用している使い慣れたイヤホンを使用して実施します。英語「話すこと」は、文部科学省から配布するヘッドセットや、学校で保有するヘッド

セットを使用して実施します。前回の令和5年度調査で使用後、各中学校等で保管・活用されているものの利用を前提とし、各学校における保有数等を調査し、各学校の保有数が、少なくとも調査対象生徒の1/3以上となるように配布予定です。また、令和5年度ヘッドセットや学校独自のヘッドセットを一定数保有している場合は、調査対象生徒の1/2の数となるよう不足分を配布できる可能性があります。ただし、各学校への配布数は、調査対象生徒の1/3以下を想定しています。実際の配布数はD調査の結果を踏まえて確定のうえ、事前検証の実施時期に併せて2月より順次配布します。

- ・「G I G Aスクール構想の実現 学習者用コンピュータ最低スペック基準」（令和6年4月17日）において、「音声接続端子としてマイク・ヘッドフォン端子を1つ以上有していること」としているため、配布予定のヘッドセットは、マイク・ヘッドフォン端子（4極）のものを予定しています。
- ・一部の公立中学校、私立中学校、国公立大学附属中学校に限り、変換アダプタの配布を検討します。
- ・英語「聞くこと」「話すこと」は、各学校のヘッドセット保有数・イヤホン活用数に応じて、実施モデルを参考にグループを分けて実施します。

資料2－3 令和8年度全国学力・学習状況調査CBTでの実施に向けた各小中学校での準備について

- ・小学校調査・中学校調査共通で必要な事前準備として、

- ①学校のネットワーク・端末の確認
- ②MEXCBTの活用の流れ・注意事項

中学校調査に必要な準備として、

- ③英語CBT実施に向けた事前準備・検証

小学校調査に必要な準備として、

- ④児童質問調査に向けた事前接続テストの実施

をお願いします。

- ・①について、教育委員会・学校は、日頃より学校のネットワークや端末を不具合なく活用できているか、WebブラウザやOS、フィルタリングソフトが最新バージョンになっているか等を確認してください。特にフィルタリングソフトの設定により、MEXCBTにて画像・動画が表示されず、調査が実施できない現象が複数の教育委員会・学校で発生しておりますので、改善した対応例を参考に、ICT担当者とも協力して調査実施までの改善をお願いします。

- ・③について、令和8年2月以降、ヘッドセットが届きましたら、ヘッドセットやイヤホンが、実施に必要な数（中学校英語調査対象生徒の最低1/3以上）が確保できているか、問題なく使用できるかを事前検証等で確認してください。また、令和8年度調査で配布したヘッドセットは、次回以降の調査においても使用するため、調査終了後、各中学校等で適切に保管・活用をお願いします。

- ・③について、英語調査に向けた事前検証では、令和7年10月に公開しました合計11問

- のサンプル問題（中学校英語）のうち、「書くこと」「話すこと」それぞれ1問のみ（合計2問）を抜粋して実施予定です。普段の授業や家庭学習等において、公開している全てのサンプル問題に積極的に取り組んでいただくよう、指導をお願いします。
- ・③について、英語「書くこと」にて、CBTで英文を記述する際には、タイピングでの入力が必要です。生徒の資質・能力がCBT調査においても発揮できるよう、英文のタイピング入力等に取り組む機会を設けるなど、工夫しておくことが望ましいです。各自治体や学校で導入されている英語学習ソフトのほか、サンプル問題やMEXCBTに掲載されている問題等も活用しながら、英語のタイピング入力の練習に積極的に取り組んでいただくようお願いします。
 - ・③について、2月～3月中旬の任意の日に、令和8年度全国学力・学習状況調査に参加する全中学校の全生徒（現中学2年生）において、英語調査に向けた事前検証の実施をお願いします（3月に端末更新する場合は、4月に実施することも可能）。実施の概要は、令和8年1月中旬頃発出予定の事務連絡でお知らせするとともに、「事前検証マニュアル」を1月中旬頃にWebシステムで配信する予定です。
 - ・④について、令和8年2月から3月の任意の日に、小学校における児童質問調査に向けたMEXCBTの事前接続テスト（教員1名）の実施をお願いします。実施の概要は、令和8年1月中旬頃発出予定の事務連絡でお知らせするとともに、「事前接続テストマニュアル」を1月中旬頃にWebシステムで配信する予定です。

資料2－4 令和8年度全国学力・学習状況調査における特別な配慮について

資料2－5 令和8年度全国学力・学習状況調査における学校外実施について

- ・中学校英語調査については、特別な配慮が必要な児童生徒に対応するCBTプログラム（拡大文字問題プログラム、スクリプト表示問題プログラム、代筆解答プログラム、時間延長問題プログラム、ルビ振り問題プログラム）を作成・配信します。視覚障害のある生徒については、点字問題冊子の使用が可能ですが、「話すこと」の解答はMEXCBTで実施することを予定しています。
- ・令和8年1月中旬頃に、配慮版のサンプル問題（拡大文字問題・ルビ振り問題・スクリプト表示問題）をMEXCBT上に搭載予定であり、事前検証の際は、配慮版問題の使用にかかわらず、生徒が普段の学習で使用している入出力支援装置や端末のアクセシビリティ機能がどの程度使用できるのかを確認いただき、調査実施時の学校における対応方法の検討をお願いします。
- ・CBTで実施する調査は、通常実施時に欠席等により調査を実施できなかった生徒に対して、自宅、病院、教育支援センター等において後日実施することも可能です。本会議資料2－5を周知・発信等に活用いただき、児童生徒がそれぞれの状況に応じて柔軟に調査に参加できるよう、教育委員会・学校と保護者・病院・教育支援センター等の連携をお願いします。

（3）令和8年度調査中学校英語の結果返却について

資料3－1	令和8年度全国学力・学習状況調査「中学校英語」結果返却のポイント
資料3－2	令和8年度全国学力・学習状況調査中学校英語に関する提供データについて
資料3－3	令和8年度全国学力・学習状況調査 中学校英語提供データサンプル (イメージ)

- 令和8年度「中学校英語」の結果は、IRTに基づくスコア（IRTスコア）とバンドで示します。IRTスコアを踏まえた経年変化については、次回以降の教科調査（中学校英語）の結果と一緒にお示しする方向で検討します。
- 公開問題と非公開問題で提供データが異なります。公開問題については、従前、教科調査の結果返却時に提供していたデータに相当するデータを提供します。複数の公開問題について、IRTバンドを活用した分析も行う予定です。非公開問題については、個々の問題の内容や正誤は返却できませんが、全体の解答状況から分かる児童生徒の学習状況を可能な限りフィードバックします。
- 生徒個人や学校・教育委員会への結果返却は、①7月に「話すこと」を除く英語3技能の結果、②秋頃に「話すこと」・英語4技能の結果、の2段階で返却します。
- 国による結果公表は、令和7年度と同様、3回に分けて実施し、7月当初から、4技能の全国値や分析結果を公表します。秋の都道府県・指定都市別データには、「話すこと」の解答状況、4技能総合のIRTスコア平均やIRTバンドの分布等を含めて公表する方向で検討しています。

<本件担当>

文部科学省総合教育政策局参事官(調査企画担当)付学力調査室

E-mail : gakuch@mext.go.jp 電話 : 03-5253-4111 (内線 3726)